

こぶしだより 第212号

1998年 2月20日(金)

発行 第212号

こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

☎0286(62)1911

成人祝



こぶし作業所では、今年2人の仲間が成人式を迎え

1月25日、自治会主催による手作り、成人祝う会が行われました。成人を迎えたのは、阿部仁美さん(昭26.8.15)と滝口功一さん(昭26.6.13)です。

二人は少し緊張気味に前の席に座り、仲間からの励ましやお祝いの言葉に耳を傾けていました。クライマックスは、お二人のお母さんのメッセージ。お二人の年齢が一番近い？川島さんに代読していただきました。それぞれが、ここまで育ててくれた温かい想いあふれるメッセージで胸が熱くなっています。また、自治会からのプレゼントとたくさんのお菓子が温かい拍手に包まれ、やっぱりこが大人らしく凛々より二人の姿に、これから二人が二人らしく青春を満喫して欲しいと願わずにいられませんでした。

仁美さん、功一くん
おめでとう！

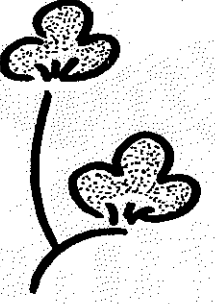
(鈴木)



けやきの仲間が今年成人式を迎えたのは、松山竹

工君、日笠山徹君、水沼のそみさんの3人で、成人を祝う会が1月23日にけやき作業所で行われました。

自治会役員とレク部の仲間が、祝う会が始まる1時間前



からテーブルを並べ替えたりお菓子を盛り付けたりするなど準備を始めました。

作業が終わる準備も整い、仲間が次々に食堂に入ってきて、ました。正面の席には3人の成人者と1月の誕生者職員の水沼、成田主任より成人を祝うメッセージをもらい、ジュースで乾杯しました。お菓子を食べながら先輩の仲間は自分か成人を迎えた頃を思い出し会話が盛り上がっていました。

最後にプレゼント贈呈です。このプレゼントは直井自治会長が選り手に女性の水沼さんへのプレゼントは選り手に苦勞に様です。もう、たプレゼントを皆の前で披露し、祝う会が終わりました。

(田島)

フレッシュ新入職員

初めまして！今度、けやき作業所で仲間達と一緒に働くことになりました。関勇二です。

あっという間に1ヶ月が過ぎ、みんなから「関さん、勇二くん」と呼ばれるようになりました。

今まで私は、福祉の仕事をした事もなく、皆様にとっては、頼りないとは思いますが、仲間達と一蓮託生が出来ればいいなと思っています。

最後に、どんなささいな事でも、お気軽にお声をかけて下さるよう、宜しくお願い致します。



シリーズ こぶしの実践

(石けん班)

私たち石けん班は、七名で構成されています。班長大橋さん、副班長牛丸さんを中心

に年間を通して四種類もの作業を皆が一丸となってそれ

れの適任の工程に分かれてこ

なしていきます。彼らの仕事

をしていく姿は、正に仕事の

鬼そのものです。中でも小池

さんは群を抜いています。労

金のチラシの袋詰めや、割り

ばしを袋に入れる作業などは

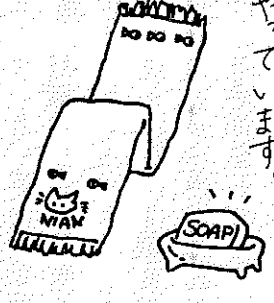
過去に何名かの職員が挑戦し

ました。がことごとく破れ去り、今や向かうところ敵なしといった状態です。(挑戦者随時募集中心！)

また、他の班員たちも適材適所で自分の仕事をきっちりこなしています。簡単に紹介しますと、まず班のまとめ役の大橋さん、彼は仕事かスムースにいくようにと他の仲間たちのことを気づかいながら進めてくれています。パソコンを扱ってのデータ管理を細かく行なっているのが牛丸さんで、彼は黙々とパソコンを打ち込んでおられるかと思えば、他の仲間たちのホローもっさりやっています。

細かい仕事は若手な野中さんですが、力仕事は得意で他の人が重い荷物を持って、いるとそっと手をさしのべて手伝ってくれます。物腰が柔らかく人の気づかないところを教えてくれるのが塚田さんです。班全体の雰囲気づくりや見学者の対応を笑顔でこなしてくれているのが池田さんで、いつも楽しいおしゃべりと明るい笑顔で皆を元気づけてくれます。最後に昨念願の作業生になれた大木君彼の仕事に対する意欲はすごいもので、ひとたび作業にトリカかると、がらりと表情が変わりその熱意がこちらにも伝わってきます。

以上それぞれ個性が上手にからみ合っている構成されている石けん班です。(赤瀬)

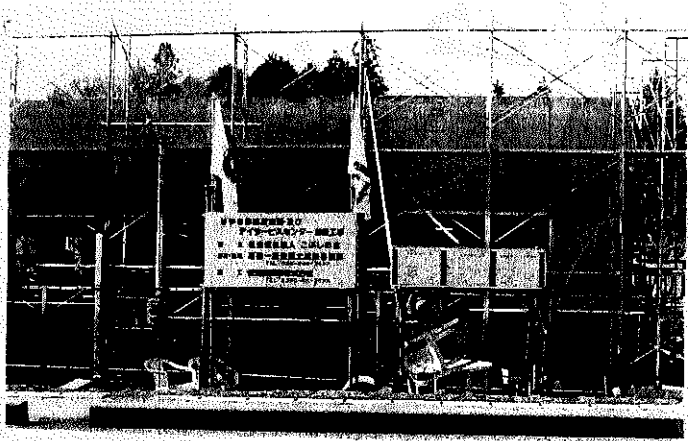


2月カレンダー

- 7日 (土) 指導会議 (こぶし)
- 14日 (土) 職員会議
- 15日 (日) こぶしまつり
- 16日 (月) 振休
- 21日 (土) 休所日
- 22日 (日) 日曜
- 28日 (土) 指導会議 (けやき)

今年ハインゲンが流行！油断禁物





けやき作業所 建設状況

着々と進む...

去る1月10日後援会役員会がけやき作業所で開催され建設工事の進捗状況を確認しました。

工事状況は、現場監督より説明があり、現在基礎ができてあり柱の鉄筋も組み上げられ施行率が22%（今はもう半分位できている）の段階にあること、そしてこれからどのような工事を行うか工程を聞きました。4月末竣工に向けて着々と進んでいきます。みなさんも一度新しいけやき作業所を見に来ませんか。

一方建設に関わる資金の面で、国庫補助金の申請、借入金金の申請等は、高橋副所長の尽力により順調に進められていいます。いろいろはすい？きょと...たぶん...しかし、自己資金の調達が遅れ、今おおよそ1千万円ほど不足しています。役員会ではとりわけ今展開している建設費金（103千円）を今後より精力的に取り組むことを確認。また昨年行ったひろがれコンナートのような大きな事業を今年もまた行う予定です。（現在事務局で検討中）皆様の更なるご協力よろしくお願いいたします。

（成田）



地大でみな 98 1月

授産施設
作業所はもっぱら労働の場である。しかし、地域の実態から言えば、重度障害者の活動の場は閉ざされており、入所施設の他現在のところ彼等の進路はあまりにも少ない。そのため、こぶし・けやき作

業所とも彼等の数少ない活動の場となつていく。一方、作業所の法的な目的である労働という活動に立ち向かえる仲間も存在するが、授産施設の現実には（福祉作業所はさらに）重度障害者の活動を支えるだけの人的体制が保障されていないため、作業所はどつしてもどつちつかずの役割しか果たし得ないことになる。本人も家族も不満のでてくるころだろ。

さて本題に戻るが、こぶし・けやき作業所の労働施設としての役割はどの程度果たしているだろうか。1日仕事に向かえる仲間でも月2万円から67千円の賃金に甘んじている。下請の限界を超えこぶしでは廃油石けん、けやきでは製パン等自主製品を開発し高収益をめざしている。しかし福祉を狭い意味で捉えてきた我々が企業と競争し

て利潤をのぼしていくのは並大抵の課題ではない。全国の授産施設・福祉作業所の平均賃金9千円前後とここ数年少しも向上していないという実態を見ると、このことはもう制度の問題といわざるを得ない。

「クロネコヤマト」の愛称で郵便小宅事業を浸透するほどの大企業にのしあげた小倉昌男氏は、現在、1993年に障害者の自立と社会参加を目的とした財団法人ヤマト福祉財団の理事である。つえをつきながらも積極的に障害者団体の集会に参加し発言をしている。ヤマト福祉財団は助成の対象を法人格のないところにも広げているため全国の福祉作業所の実態にも詳しい。そして、利用者の賃金が1万円を下ること、職員の給与が20万程度であること、そして、職員・関係者がこうしたことを当たり前と考え

ている。実態に企業経営の経験から率直に驚きを表明している。さらにこうした状況の改善には、職員関係者の自立が必須で商品の開発・市場調査を内容とした2泊3日の研修会を実施して好評を博している。さらに、製作連との間で製パン企業であるアンデルセンとの業務提携とパン製造設備の助成を提案しているという。財政基盤の脆弱が共同作業所にとって願ってもない朗報である。

ひるがえって、障害者の経済的自立をすすめるためには、大企業の援助が不可欠であり、逆に競争の相手となるのである。小倉氏の言う「作業所が夢と希望を待たず困窮に立ち向かう」事は困難になる。しかし、政府が昨年12月9日に発表し

た、今後の障害者保険福祉政策のあり方については（中略）は積極的な施策の見直しは含むものの、「民間事業者の参加拡大」「障害者の施設利用の負担のあり方を検討」など、更なる公的責任の徹底、市場原理・競争原理の導入、利用者・家族の負担が危惧される。21世紀を平和と福祉の世紀にするためにも、共作連の第21回国会請願署名の成功が一歩の大きな鍵となる。

賞し、昨年まで54ヶ所、15万人の方々がすでに鑑賞、感動をまき起こしています。一度見られた方ももう一度そして未だの方はこの機会をお友達、お知り合いの方を誘って是非ふらん下さい。

昨年8月に完成、9月にけやき作業所上映会にとり組み大成功を収めた「どんぐりの家」がいよいよ宇都宮で上映されます。栃木県視覚障害者協会、全国手話通訳問題研究会そしてこぶしの会が実行委員会を結成し準備を進めているところだ。

この作品は文部省特選として、つい先頃、文化庁のメディア芸術祭アニメ部門において「もののけ姫」について優秀賞を受

た、今後の障害者保険福祉政策のあり方については（中略）は積極的な施策の見直しは含むものの、「民間事業者の参加拡大」「障害者の施設利用の負担のあり方を検討」など、更なる公的責任の徹底、市場原理・競争原理の導入、利用者・家族の負担が危惧される。21世紀を平和と福祉の世紀にするためにも、共作連の第21回国会請願署名の成功が一歩の大きな鍵となる。



お問い合わせ こぶし作業所内 028-662-1911
H10.3.22(日) AM 10:30~ 南演
PM 1:30~

3月22日(日)
栃木県教育会館大ホール
演 10:30開演
開 10:00開場
演 1:30開演
開 1:00開場
大人1,200円(当日1,300円)
学生700円(当日800円)
小・中・高生
前売券発売中!

賞し、昨年まで54ヶ所、15万人の方々がすでに鑑賞、感動をまき起こしています。一度見られた方ももう一度そして未だの方はこの機会をお友達、お知り合いの方を誘って是非ふらん下さい。

